

インパクトリベット

管理番号:E-031

特願2007-151711

課題

リベット締結法は近年のコストダウン化、省力化の要望とともに、加工が容易であることから再び注目されている。特に自己穴あけリベット法は板の穴あけが不要なこと、溶接が難しい材料や異種材料の締結が可能なこと、気密性に優れていることなどから自動車業界で急速に普及してきている。しかしながら、あまり高い締結強度が得られない、リベット締結後の板の面外変形が大きいという課題があり、そのために適用範囲がまだ狭いのが現状である。

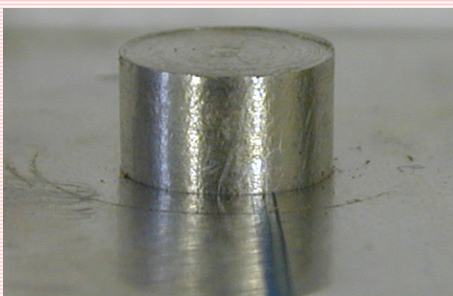
効果

本発明は、通常のかしめ加工に用いられている形状に近いリベットを120m/s程度の高速で板へ打ち込み、穴あけと板の締結を同時に行う方法で、自己穴あけリベット法と同じ特徴を持ちながら、締結後の板の変形が小さく、高い締結強度を持つ。さらに締結後のリベットの解体が容易な構造となっており、接合材及びリベット自体のリサイクル性にも優れている。

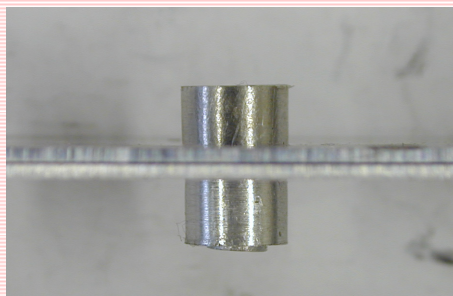
利用分野

各種締結部品・特に自動車産業・航空宇宙産業など

インパクトリベットの締結状況



継手の表面



継手の側面



継手の裏面

連絡先

文部科学省・経済産業省承認
技術移転機関

株式会社みやざきTLO

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地

宮崎大学産学連携センター内

TEL: 0985-58-7942 FAX: 0985-58-7945

E-mail: info@miyazaki-tlo.jp

http://www.miyazaki-tlo.jp